FUJIFILM

Apeos™

Apeos C7072 / Apeos C6572
Apeos C5572 / Apeos C4572
Apeos C3572 / Apeos C2572

電子マニュアルは、公式サイトでご覧になれます。
弊社公式サイトの検索バーで、お使いの機種名を検索してください。

https://www.fujifilm.com/fb/support

取扱説明書

本機を使用する前に必ずこのマニュアルをお読みください。このマニュアルは、読み終わったあとも必ず保管してください。

- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

ご使用前に必ずお読みください

本機を使用される前に、電子マニュアルに記載されている「使用権許諾条項」（アドビ社のソフトウェアの使用に関する条項）を必ずお読みください。電子マニュアルは、公式サイトでご覧になれます。

各ソフトウェアは、対象となる各条項にご承認いただける場合のみご使用ください。使用を開始されたときは、各条項のすべてをご承諾いただいたものとさせていただきます。もし、「ソフトウェア使用許諾事項」にご承諾いただけない場合は、本商品をお買い求めいただいた販売店にお問い合わせください。

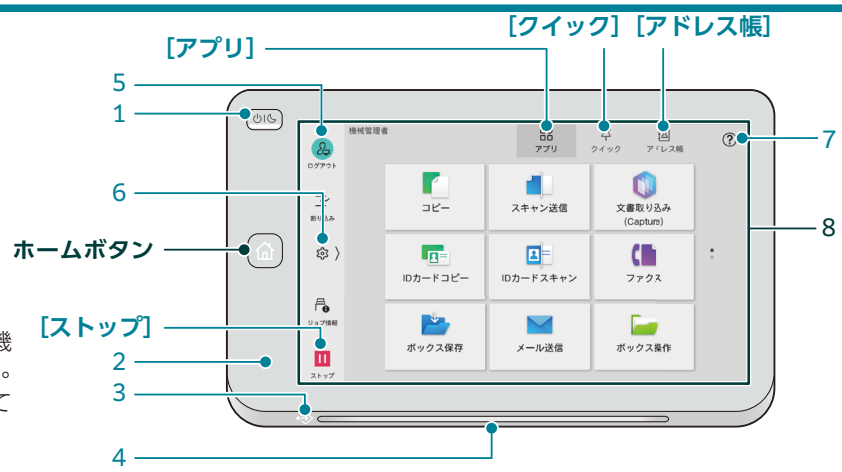
ISO/IEC 15408認証製品としてご利用いただく場合は、本製品の設置および受け渡し時に、作業者の所属をIDカードやその他の文書でご確認ください。設置時は必ず立ち会い、作業状況のご確認をお願いします。また、公式サイトにて本機種の『セキュリティ機能補足ガイド』をご参照のうえ、適切な確認および設定をしてください。セキュリティ認証の取得状況につきましても、公式サイトをご確認ください。

2026年10月　GM2271J1-1　第1版　©富士フイルムビジネスイノベーション株式会社

操作パネル

■ 操作パネルの機能

ホームボタンを押すと、ホーム画面が表示されます。



1. 電源/節電ボタン

電源が入ります。

補足

- 「お待ちください...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。
- 電源が入らない場合は、電源プラグが差し込まれていることを確認してください。

2. NFCタッチエリア

お使いのNFC対応モバイル機器をかざすエリアです。相互通信するには、本機のNFC機能が有効になっている必要があります。

3. データランプ

本機からデータを送信中や、クライアントコンピューターからのデータを受信中に、点滅します。

また、機械内部に文書を蓄積しているときや、ファクス親展受信文書がボックス内に蓄積されているときは点灯します。

4. 状態表示ランプ

操作を受け付けた瞬間、緑色で点灯または点滅します。エラーが起きると、オレンジ色で点滅します。

5. ログイン

ユーザーIDを入力してログインすると、認証されます。

機械管理者権限でログインすると、[機械管理者] と表示されます。認証中にタップすると、ログアウトして未認証になります。

6. メニューを開く

タップするとメニューが開き、本機の設定を変更したり、設定内容を確認したりできます。

[<] をタップするとメニューを閉じます。

7. ヘルプアイコン

操作方法を確認できます。

8. ホーム画面

アプリ/クイック/アドレス帳画面を切り替えて表示できます。

- [アプリ]：アプリケーションアイコンをタップして、機能を利用できます。
- [クイック]：ジョブ指示履歴と、ユーザーが［ピン留め］したジョブ指示履歴からジョブを再実行できます。ジョブ指示履歴をピン留めしておくと、アプリを開かずに直接ジョブを起動できます。
- [アドレス帳]：宛先などの情報を登録します。登録した宛先からアプリを起動できます。

  アプリの起動後は、選択した宛先がアプリの送信先に設定された状態になります。

■ 電源を切る

電源を切ると、本機のすべての機能が停止します。

注記

次の状態の場合は、電源を切らないでください。電源を切ると、処理中のデータが消去されることがあります。
- データ受信中（データランプが点灯している）
- 用紙の排出終了後、5秒以内
- コピー、または スキャン中

1. 電源/節電ボタンを押します。

補足

電源/節電ボタンを長押ししても、電源が切れます。

2. [電源を切る] をタップします。



■ ピン留め

各アプリの機能リストから、現在の設定値を保存してピン留めを作成できます。また、過去に実行したジョブのジョブ指示履歴をピン留めすると、同じ設定で簡単にジョブを実行できます。

補足

- ジョブ指示履歴およびピン留めは、ユーザーごとに管理されます。
- ピン留めされたジョブ指示履歴は、上書きされません。
- 機械管理者モードで作成された［ピン留め］はすべてのユーザーに共有されます。
- 共有された［ピン留め］の変更/削除は、機械管理者モードで実施できます。

ジョブ指示履歴をピン留めする

1. ログインします。

2. ホーム画面で、[クイック] をタップします。

3. ピン留めしたい履歴の右側の ⋮ をタップし、[ピン留め] をタップします。



ピン留めしたジョブ指示履歴からジョブを実行する

[クイック] 画面でピン留めされたジョブの右側の ⋮ をタップして、[今すぐ実行] をタップします。



機能リストからピン留めする

1. ログインします。

2. [アプリ] 画面で目的のアプリケーションアイコンをタップします。

3. 必要に応じて、各項目を設定します。

4. [設定を保存] をタップします。



5. [保存名] を入力し、[OK] をタップします。

6. ホーム画面（[アプリ] 画面）にピン留めボタンを作成する場合は、[ホームの [アプリ] にボタンを作成] を [する] に設定し、ボタンの動作などを設定します。

7. [OK] をタップして、ピン留めを保存します。

用紙のセット

注記

- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙詰まりや故障の原因になります。
- プリンターがジョブを処理している間は、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

補足

用紙を用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙のくっつきをなくして、紙詰まりを起こしにくくします。

トレイ1～4に普通紙をセットする方法を記載しています。

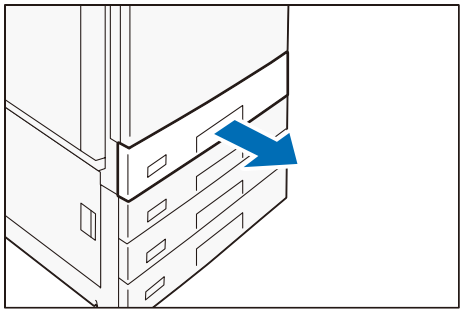
セットできる用紙

用紙サイズ（mm）	トレイ1 たて：90～297、よこ：148～432 トレイ2、3、4 たて：100～320、よこ：148～457
用紙坪量（g/m²）	52～300

補足

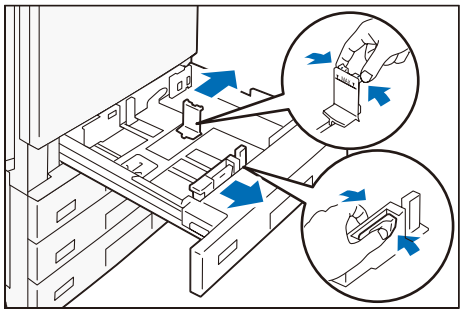
- トレイ 1 に封筒アタッチメントが取り付けられている場合にセットできる用紙サイズは、たて：90～241 mm、よこ：98～162 mmです。
- タンデムトレイモジュールをお使いの場合は、トレイ3、4にセットできる用紙サイズが異なります。

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。

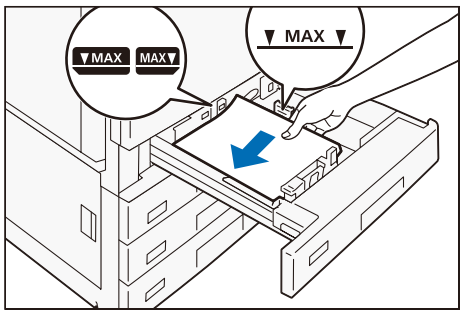


2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。

3. 2か所のガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。



4. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。



注記

用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

補足

ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。
ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。

5. 用紙トレイを押し込みます。

6. 用紙種類を変更した場合は、設定画面で用紙トレイの設定をします。

1. 〉>［設定］>［用紙トレイ設定］をタップします。



2. 用紙をセットした用紙トレイの番号をタップしたあと、用紙の項目を設定し、［OK］をタップします。

7. プリントするときは、プリンタードライバーで、用紙設定をします。

コピー/ファクス/スキャン

1. 原稿をセットします。

複数枚　1枚

原稿送り装置

セットできる用紙

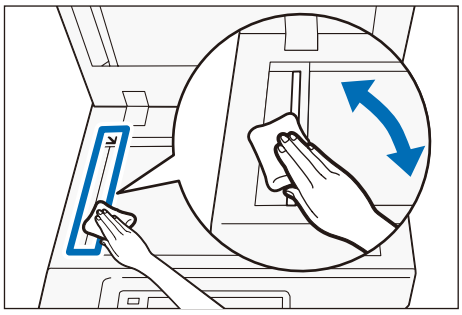
用紙サイズ（mm）	たて	49～297
	よこ	85～431.8
用紙坪量（g/m²）	片面時	38～220
	両面時	50～220

補足

- ファクスキットが取り付けられている場合にセットできる用紙サイズは、よこ：～600 mmです。
- セットできる名刺のサイズは、たて：49～55 mm、よこ：85～91 mmです。用紙坪量は38～220 g/m²です。

1. 原稿カバーを開きます。

2. 原稿ガラスの左側にある、原稿読み取りガラスと白いプラスチック部分の汚れをふき取ります。

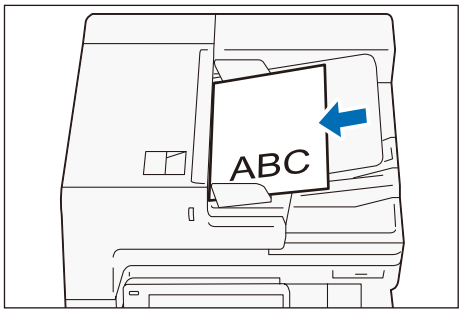


3. 原稿カバーを閉じます。

4. 原稿にフセン紙やテープ、ホチキスやクリップなどがついていないことや、修正液が乾いていることを確認し、しわや折りが付いている原稿はきちんと伸ばします。

5. 正しく原稿サイズを検知できるように、原稿の左上の角をそろえます。

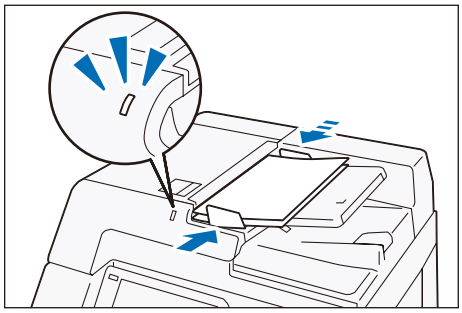
6. 読み取り面（両面原稿の場合は、おもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。



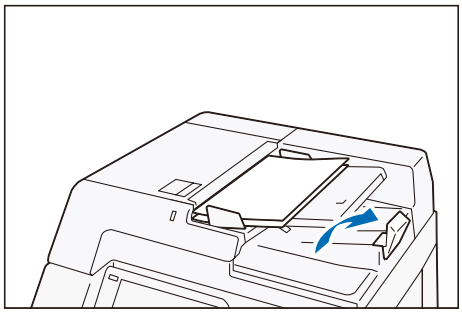
注記

用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

7. 原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。



8. 原稿受けストッパーを開きます。

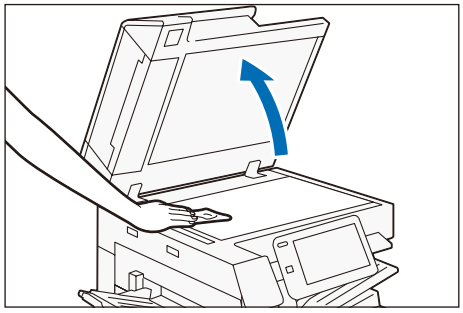


原稿ガラス

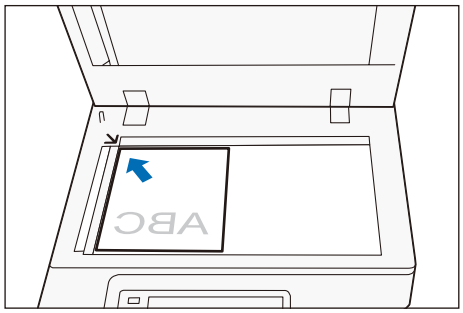
セットできる用紙

用紙サイズ（mm）	たて：～297、よこ：～432

1. 原稿カバーを開き、原稿ガラスの汚れをふき取ります。



2. 読み取り面を下に向けて、原稿ガラスの左上の角に合わせて原稿をセットします。



3. 原稿カバーを閉じます。

2. [アプリ] 画面で目的のアプリケーションアイコンをタップします。

コピー　スキャン　ファクス



コピー

1. 必要に応じて、各項目を設定します。



2. [スタート] をタップします。

ファクス

1. キーボード入力、またはアドレス帳（）、リダイヤル（）をタップして、宛先を指定します。



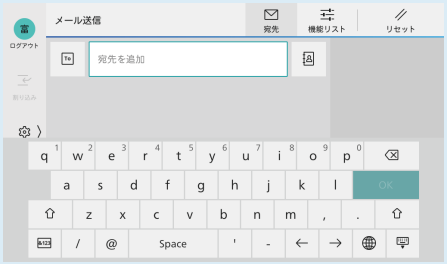
2. [完了] または [OK] をタップします。
3. をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。
4. [スタート] をタップします。

スキャン（メール送信）

補足

- スキャンの方法は、ほかにも [ボックス保存]、[スキャン送信]、[USB]、[WSD スキャン] があります。
- メール送信をするには、本体のメール環境を設定しておく必要があります。

1. キーボード入力、またはアドレス帳（）をタップして、宛先を指定します。



補足

- キーボード入力で複数の宛先を指定する場合は、[宛先を追加] をタップし、続けて宛先を入力します。
- 宛先の種類（To/CC/BCC）を変更するときは、Toをタップします。

2. [完了] または [OK] をタップします。



3. をタップし、必要に応じて、各項目を設定します。



4. [スタート] をタップします。

安全にご利用いただくために

本機を安全にご利用いただくために、本機をご使用になる前に必ず「安全にご利用いただくために」を最後までお読みください。

お買い上げいただいた商品は、厳しい安全基準、環境基準に則って試験され、合格した商品です。常に安全な状態でお使いいただけるよう、下記の注意事項に従ってください。

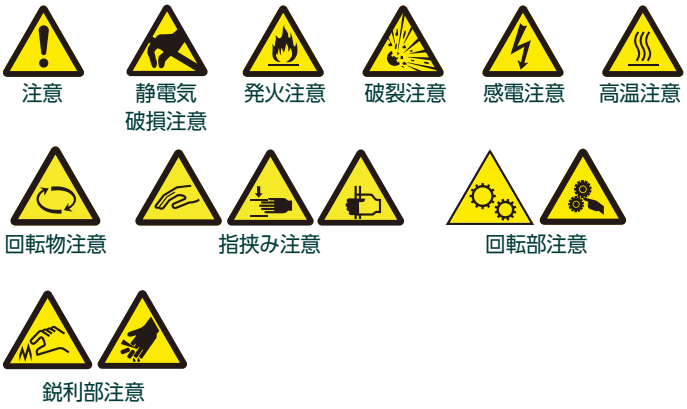
⚠ 警告

⚠ 新機能の追加や外部機器との接続など、許可なく改造を加えた場合は、保証の対象とならない場合がありますのでご注意ください。詳しくは、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にお問い合わせください。

各警告図記号は次のような意味を表しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があり、かつその切迫の度合いが高いと思われる事項があることを示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重傷を負う可能性があると思われる事項があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負うことが想定される内容、および物的損害の発生が想定される事項があることを示しています。

△ 記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



⃠ 記号は、行ってはならない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



● 記号は、必ず行っていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



■ 電源およびアース接続時の注意

⚠ 警告

本機の後方から電源コードとともに出ている緑色のアース線を必ず次のいずれかに接続してください。接続せずに使用した場合、感電及び火災事故の原因となります。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを850 mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）を行っている接地端子

アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は必ず、電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースをご確認ください。アースが取れない場合や、アースが施されていない場合は、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線、および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

アースとの接続が不十分な場合、感電及び火災事故の原因となります。

本機にはD種以上の接地工事を必ず実施してください。接続せずに使用した場合、感電及び火災事故の原因となります。

電源コードは、本機近くのアースが確実に取れる電源コンセントに、単独で差し込んでください。定格未満の延長コードは使わないでください。たこ足配線をしないでください。発熱による火災の原因となります。

電源接続に関してご不明な点がある場合は、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご相談ください。

本機の定格電圧値および定格電流値より容量の大きい電源コンセントに接続して使用してください。本機の定格電圧値および定格電流値は、本機背面パネルの定格銘板ラベルを確認してください。

電源プラグは絶対にぬれた手で触らないでください。感電の原因となります。

電源コードにものを載せないでください。

電源プラグや電源コンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などによって表面に微小電流が流れ、発熱による火災の原因となります。

同梱、または弊社が指定した専用電源コード以外は使用しないでください。火災、感電の原因となります。

また、これら電源コードをほかの機器に使用しないでください。

電源コードを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、発熱による火災や感電の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線)、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

本機の電源を完全に切るためには電源コンセントから電源プラグを抜く必要があります。
緊急時に容易にプラグを抜くことができるよう、本機は電源コンセントの近くに設置してください。

本機の清掃を行う場合は、電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切らずに本機の清掃を行うと、感電の原因となります。

本機の電源を入れたままで電源コンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。アークによって電源プラグが変形し、発熱による火災の原因となります。

電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

連休などで長期間、本機（ファクシミリ機能など）を使用しないときは、安全のために電源を切り、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてください。なお、電源を切った場合は、ファクシミリによる受信ができなくなりますのでご注意ください。

1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。
- 電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれているか
- 電源プラグに異常な発熱、およびサビ、曲がりなどはないか
- 電源プラグや電源コンセントに細かいホコリが付いていないか
- 電源コードにきれつや擦り傷などがないか

異常な点にお気づきの場合はただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

■ 設置時の注意

⚠ 警告

本機は、電源コードの上を人が踏んで歩いたり足で引っ掛けたりするような場所には設置しないでください。発熱による火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

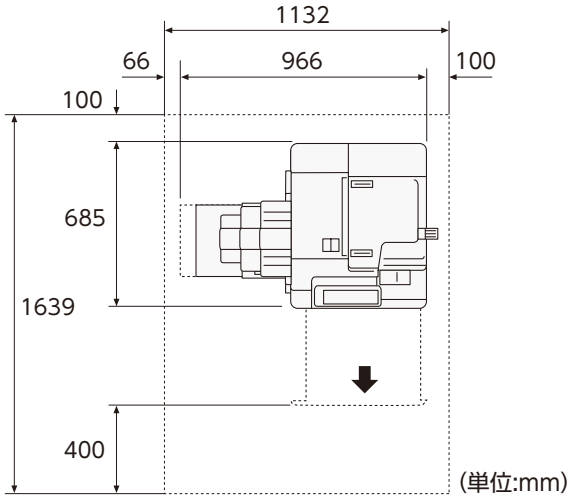
次のような場所には、本機を設置しないでください。
- 発熱器具に近い場所
- 揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近く
- 高温、多湿の場所や換気が悪くホコリの多い場所
- 直射日光の当たる場所
- 調理台や加湿器のそばなど

本機の包装に使用している袋、シートは幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息の原因となります。

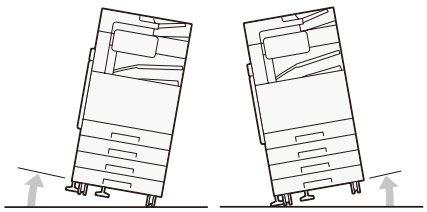
本機は、124 kg（最小構成時）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。本機の転倒などによりケガの原因となります。

本機には通気口があります。本機の通気口をふさがないでください。通気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。本機を安全に正しく使用し、本機の性能を維持するために、次の設置スペースを確保してください。また、本機の異常状態によっては、電源プラグを電源コンセントから抜くことがありますので、設置スペース内に物を置かないでください。

最小構成時



本機を10°以上に傾けないでください。
転倒などによるケガの原因となります。



本機を設置したあとは、キャスターに付いている移動防止用ストッパーを必ずロックしてください。
ストッパーをロックしないと、本機が思わぬ方向に動き、ケガの原因となります。

本機の電線やケーブルを束ねるために、ケーブルタイやスパイラルチューブ等を使う場合は、弊社から提供される部品をご利用ください。弊社の提供品以外の部品のご使用は事故の原因となります。

■ 機械使用上の注意

⚠ 警告

マニュアルに明記されていない作業は危険ですので、絶対に行わないでください。

本機はお客様が危険な箇所に触らないよう設計されています。危険な箇所はカバーなどで保護されていますので、ネジで固定されているパネルやカバーなどは、絶対に開けないでください。感電やケガの原因となります。

次のようなときにはただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。その後、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると、感電や火災の原因となります。
- 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
- 異常な音やにおいがするとき
- 電源コードが傷ついたり、破損したとき
- ブレーカーやヒューズなど部屋の安全装置が働いたとき
- 本機の内部に水が入ったとき
- 本機が水をかぶったとき
- 本機の部品に損傷があったとき

本機の隙間や通気口に物を入れないでください。また、次のものは、本機の上に置かないでください。
- 花瓶やコーヒーカップなどの液体の入ったもの
- クリップやホチキスの針などの金属類
- 重いもの

液体がこぼれたり、金属類が隙間から入り込むと本機の内部がショートし、火災や感電の原因となります。

電気を通しやすい紙（折り紙/カーボン紙/導電性コーティングを施された紙/導電性インクによるプレプリント紙など）を使用しないでください。ショートして火災の原因となります。

本機の性能の劣化を防ぎ安全を確保するため、清掃には指定されたものをご使用ください。スプレータイプのクリーナーは、引火や爆発の危険がありますので、絶対に使用しないでください。

複数の用紙トレイを同時に引き出すと、不意に本機が押された場合に本機全体が傾き、転倒などによりケガの原因となります。用紙トレイを引き出す場合は、必ず一段ずつ引き出して使用してください。

用紙トレイを引き抜いて紙詰まり処理を行う場合には、弊社のカストマーコンタクトセンターまたは販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガをする原因となります。

レーザーについて

注意：マニュアルに書かれていること以外の、カバーを外すなどの操作はしないでください。レーザーの被ばくの原因となります。失明、やけどなどの原因となります。

本機は、レーザーの国際規格IEC60825-1:2014（Class 1 レーザー機器）に適合しています。このことはレーザー被ばくの危険がないことを意味しています。レーザーは本機内部で放射されますが、部品内部の漏洩防止筐体やカバーなどによって内部に閉じ込められています。したがって、お客様のご使用中にレーザーに被ばくすることはありません。

⚠ 注意

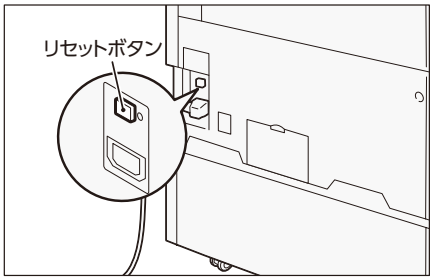
本機に貼ってあるラベルの警告や説明には必ず従ってください。特に「高温注意」「感電注意」のラベルが貼ってある箇所には、絶対に触れないでください。やけどや感電の原因となります。

本機の安全スイッチを無効にしないでください。本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、ケガや感電の原因となります。

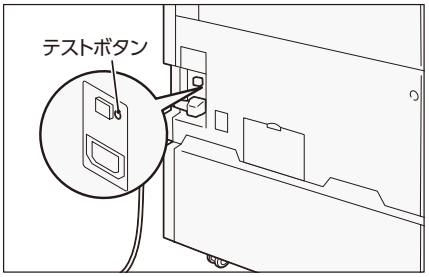
関連商品・結露防止取り付けキット使用時

本機には漏電ブレーカーが付いています。本機に漏電が起こったときに、電気回路を自動的に遮断して漏電や火災などの事故を防ぐためのものです。通常は入っている状態にしておきます。1か月に一度は漏電ブレーカーが正常に働くかを次の手順で確認してください。

1. 電源を切ります。
2. ブレーカーのリセットボタンを押し込みます。このとき、リセットボタンから手を離しても、リセットボタンが押し込まれたままの状態となります。



3. ボールペンなどの先のとがったもので、テストボタンを軽く押します。押し込まれていたリセットボタンが突き出ます。これで確認は終了です。



4. 再度、リセットボタンを押して、リセットボタンを押し込んだ状態に戻します。

異常などがある場合は、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

本機の内部に詰まった用紙や紙片は無理に取り除かないでください。特に、定着部やローラー部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないでください。ケガややけどの原因となります。ただちに電源を切り、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

フィニッシャーが作動しているとき、用紙排出部には触れないでください。ケガの原因となります。

詰まったホチキス針を取り除くときには、指などにケガをしないように十分注意してください。

ホチキスダストボックスを取り外すときは、針くずにより指などにケガをしないように十分に注意してください。

まれに排出された用紙に針くずが付着する場合がありますので、指などにケガをしないように十分に注意してください。

安全スイッチには、絶対に触れないでください。前面カバーを開けたとき、安全スイッチが働いて、本機は作動しなくなります。安全スイッチを硬貨やドライバーなどで押すと、本機は作動状態になり、ケガの原因となります。

穴があいた用紙（市販の穴あき用紙など）の穴がある位置に、ホチキスを留めないでください。飛び出した針により、ケガの原因となります。

書籍などの厚手の原稿をコピーするとき、原稿を強く押さえないでください。原稿ガラスが割れてケガの原因となります。

本機を移動するときは、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量にコピーやプリントすると、オゾンなどの臭気により、快適なオフィス環境が保てない原因となります。換気や通風を十分行うように心がけてください。

■ 消耗品取り扱い上の注意

⚠ 警告

定着装置の安全性について

定着装置は分解しないでください。定着装置内に詰まった紙を取り除く場合は、弊社のカストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。お客様自身で行うと思わぬケガの原因となります。

⚠ 注意

定着装置の安全性について

定着装置を取り外すときには、必ず電源を切って、40分後、定着装置が冷めていることを確認してから取り外してください。

規制について

■ 電磁波障害対策自主規制について

この装置は、クラスＢ機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。
VCCI-B

■ 受信障害について

⚠ 注意

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみが本機による影響と考えられる場合、本機の電源を切ってください。

電源を切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて、障害を防止してください。

- 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変える
- 本機とラジオやテレビ双方の距離を離す
- 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変える
- 受信アンテナやアンテナ線の配置を変える（アンテナが屋外にある場合は、電気店にご相談ください）
- ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変える

EMI基準への適合を維持するため、本機にはかならずシールドタイプのケーブルを使用してください。

■ 高調波自主規制について

本機器はJIS C 61000-3-2（高調波電流発生限度値）に適合しています。

静電気放電（ESD）による損傷を防ぐため、内部電子部品の操作を行う前に、お客様の身体から静電気を放出してください。金属製の接地された物体（パネルの塗装されていない金属面など）に触れることにより、静電気は放出されます。

■ SDS（安全データシート）の提供について

「労働安全衛生法」及び「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」（PRTR法）に基づき、本機用消耗品のSDSを以下の弊社公式サイトに掲載しております。
https://www.fujifilm.com/fb/support/supply/msds

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機を使用しないでください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、本機を使用しないでください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器以外の医用電気機器を本機の近傍で使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医用電気機器などの動作に影響を与える場合があります。

埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器を装着されている場合は、本機、または本機のワイヤレスカードシステムのリーダライター部（アンテナ部）から12 cm以上離れて携行および使用してください。
電波により埋込み型心臓ペースメーカー、および埋込み型除細動器の動作に影響を与える場合があります。

本製品のマニュアルについて

本製品のユーザーマニュアルは弊社公式サイトに掲載されています。ご覧になるにはインターネット接続が必要です。
インターネットサービスプロバイダーの利用費や通信費はお客様負担となります。
モバイル端末でQR コードを読み取るか、Web ブラウザーから次にアクセスしてください。
https://www.fujifilm.com/fb/support
検索バーで、お使いの機種名を検索してください。

ソフトウェアのダウンロード

プリンタードライバー、ファクスドライバー、スキャナードライバー、ユーティリティーなどの、最新版のソフトウェアは、公式サイトから入手できます。
https://fujifilm.com/fb/download

エラーコードが表示されたときは

エラーが発生してプリントが正常に終了しなかった場合や本機に故障が発生した場合は、タッチパネルディスプレイにメッセージとエラーコード（***-***）が表示されます。
エラーコードの原因と処置方法は、公式サイトで確認できます。

1. 弊社公式サイトにアクセス

2. 検索ボックスにエラーコードを入力し、検索

3. 商品名を入力し、検索

EP-BBサービス

機械管理者モードで、⚙ 〉＞［設定］＞［保守］＞［EP診断/修理依頼］をタップすると、弊社のカストマーコンタクトセンターに点検・修理を依頼できます。



保守・操作・修理（内容・期間・費用など）のお問い合わせ、消耗品のご注文

カストマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。電話番号は、機械本体に貼り付けのカードやシールに書かれています。

受付時間 土曜、日曜、祝日を除く
9時～17時30分（一部の地域では異なります）

電話番号 機械本体の貼付カードをご確認ください。

●ご意見やご相談の受付窓口

お客様相談センター

電話： 0120-27-4100 (通話料無料)
FAX：0120-05-5035 (通話料無料)

土、日、祝日および弊社指定休業日を除く
9時～12時、13時～17時

フリーダイヤルは、海外からはご利用いただけません。
また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。
お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

日本語変換は、オムロンデジタル（株）の compact Wnn を使用しています。compact Wnn (C) OMRON DIGITAL CO., LTD. 2012 All Rights Reserved.